

秋播き

春菊栽培情報

これからの鍋シーズンに欠かせない春菊。和え物やおひたしなどの料理にも使える大変万能な野菜です。さらに、カルシウムやカリウム、ビタミンC、B1、B2といった栄養素を豊富に含み、とくにカロテンの含有量は葉菜のなかでもトップクラスで、栄養価に優れています。

春菊といえば、独特の香りが特徴ですが、この香り成分には胃腸の調子を整える効果があるといわれています。まさに、これからの季節にぴったりの野菜ですね。

1. 秋播き春菊栽培暦

9月			10月			11月			12月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
圃場準備			播種			栽培管理			収穫		

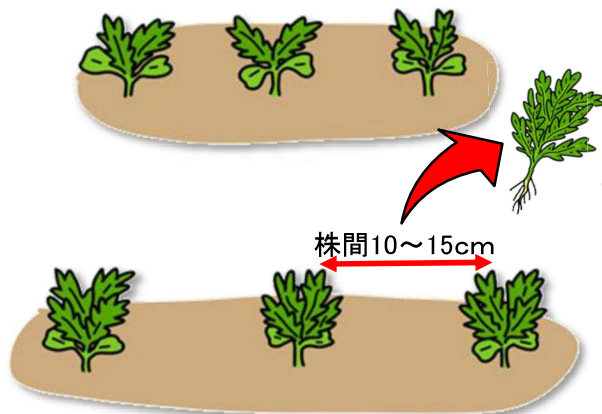
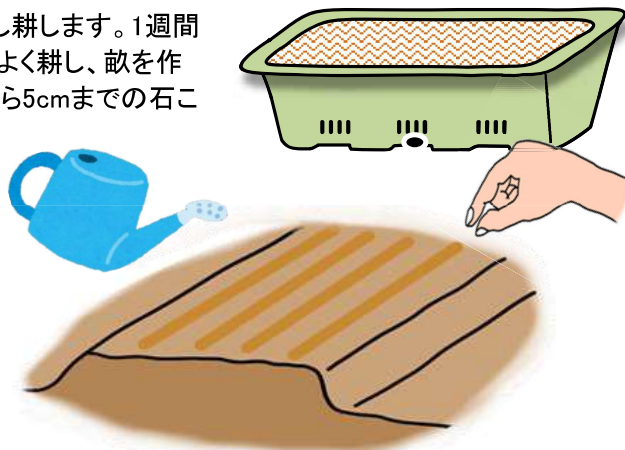
1. 圃場準備

種まきの2週間前に苦土石灰150～200g/㎡を施し耕します。1週間前に堆肥2～3kg/㎡と化成肥料100g/㎡を施してよく耕し、畝を作ります。発芽しやすいよう土を細かく砕き、地表から5cmまでの石ころは取り除いておきましょう。

2. 播種

溝を作り、1cm間隔でスジまきします。

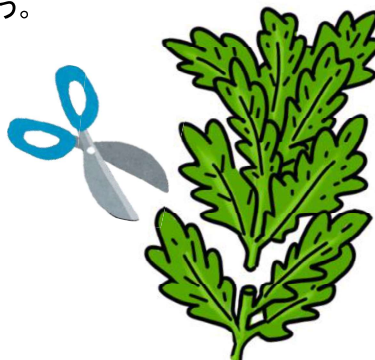
- ▶ 春菊の種は発芽に光が必要なため、覆土はごく薄めに行います。まいた種が動かないよう静かに水をやりましょう
- ▶ とくに発芽までは、敷きわらをするなどして乾燥しないよう気を付けましょう。



3. 間引き・追肥

本葉が1～2枚になったら、株間2～3cm、本葉が4～5枚になったら、株間5～6cmになるよう生育が悪いものを引き抜きましょう。

- ▶ 摘み取り収穫する品種の場合、株間が10～15cmになるよう3回目の間引きを行いましょう。間引き後、生育状況をみながら追肥・土寄せを行いましょう。



4. 収穫

株ごと収穫する品種の場合は、草丈20cm程度になったら収穫適期です。根本から引き抜くかまたは切り取りましょう。

- ▶ 摘み取り収穫する品種の場合は、草丈25cm程度になったら下葉を3～4枚残し上の葉を摘み取ります。わき芽が伸びてきたら、下葉を2枚ほど残し順次収穫しましょう。